

平成28年度シラバス（家庭科）

教科名	家庭	科目名	家庭基礎
学年	2学年	単位数	2単位
使用教科書	教育図書 『家庭基礎 ともに生きる 明日をつくる』		
副教材等	第一学習社 『生活ハンドブック 資料&成分表』		

1 学習目標

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習計画

	単 元	学 習 活 動
1 学 期	I ともに生きる 第1章 人の一生と家族 ①人生ってなんだろう ②青年期の課題とは ③家族ってなんだろう ④家族と社会のかかわりは II 明日をつくる 第1章 食生活 ①食生活を見つめてみよう ②食品の選択と取り扱い ③献立づくりと調理	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達と各ライフステージの特徴を理解する。 家庭の機能と家族について考える。 生活設計を立てる。 健康な食生活を営むための栄養素の種類と機能、食品の安全と衛生について理解する。 調理の基礎技術や配膳、食事マナーの習得を目的に調理実習を行う。（調理実験実習6回予定）
2 学 期	I ともに生きる 第2章 保育 ①赤ちゃんはなぜかわいい ②子どもはどう育つのだろう ③親になるとはどういうことか ④子どもを取り巻く環境は II 明日をつくる 第2章 衣生活 ①なぜ服を着るの ②衣服の成り立ちと性質を考えよう ③衣服はどのように管理する	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の心身の発達と生活について、特徴や留意事項を理解する。 親や家族の果たす役割と社会全体の福祉支援について理解する。 被服の機能を理解する。 被服材料の特徴を理解し、それに応じた管理ができるようになる。 被服製作実習（ミニトートバッグ）

3 学 期	<p>Ⅱ 明日をつくる</p> <p>第3章 住生活</p> <p>①だれが暮らすのだろうか</p> <p>②どのように暮らす</p> <p>③これからの住生活とは</p> <p>第4章 消費生活</p> <p>①何をどうやって買う</p> <p>②自立した消費者とは</p> <p>③家計はどう管理する</p> <p>④暮らしに必要なお金は</p>	<p>・生活に応じた適切な住居の計画や選択ができるよう住居の機能を理解する。</p> <p>・健康で安全な住宅や住環境について理解し、計画・管理できるようにする。</p> <p>・家庭の経済生活について理解する。</p> <p>・複雑化、多様化している様々な消費者問題について理解し、消費者の権利と責任について考える。</p>
-------------	---	---

3. 定期考査

1 学期期末考査・2 学期期末考査・学年末考査の3回実施する。

4. 課題・提出物等

被服製作作品、実習課題、授業プリントなど。

5. 評価基準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
家庭や地域の生活について関心をもち、その充実・向上のために意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。	家庭や地域の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めているか。	家庭や地域の生活を充実・向上させるための基本的な技術を身につけているか。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実・向上させるための基本的な知識を身につけているか。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況など） ・ 提出物の内容（実習の記録や授業プリントなど） ・ 調理実習や被服製作作品のできばえ <p style="text-align: right;">などから、総合的に評価します。</p>			

6. その他

被服製作実習や調理実習に係る材料費や教材購入費として、一人当たり2,000円を学年諸経費より徴収します。